

コロナ対策、学校での取り組み

市内小中学校では、3か月間の臨時休業を終え、6月1日(月)から、学校を再開しています。各学校では、児童生徒の命と健康を守ることを最優先し、感染症対策とともに、熱中症対策にも取り組んでいます。ここでは、その中から主な取り組み等を紹介いたします。
※今後の感染状況により変更する場合があります。

基本的な感染症対策

- 手洗いや手指消毒
- マスクの着用
- 毎日の検温や健康チェック
- エアコンの使用時も含め、常時教室の換気
- (2方向の窓を開け、扇風機などによる空気の循環)
- 教室や共用物等の消毒
- 感染リスクが高い3つの条件(密閉・密集・密接)の回避
- 感染症に対する正しい理解と、差別やいじめを許さない指導



学習保障

- 授業時数の確保のため、長期休業を短縮
- 夏季休業(8月1日~16日)、冬季休業(12月26日~1月4日)
- 家庭におけるインターネット環境調査とICTの活用推進
- オンライン上の学習教材(ビデオやドリル等)の紹介や学習活動での活用



熱中症対策

- エアコンによる温度管理
- 周りとの距離を十分に保てる場合、マスクを外す
- こまめな水分補給
- 暑さに負けない体力づくり



おれとお願い

本年度、市内小中学校では、通常なら夏季休業中である期間にも授業を行い、校舎には、児童生徒の暑さに負けない元気の声や響く夏となりました。その間、保護者の皆さんにはお弁当の準備などに、地域の方々には登下校の見守り活動にご協力いただき、ありがとうございました。特に、新旭北小学校では、大規模改造工事に伴い、湖西中学校と新旭公民館で授業を行うことになり、慣れない通学路でしたが、多くの保護者や地域の方々に見守られ、毎日安全に通うことができました。ご協力いただき、ありがとうございました。今後、新しい生活様式を踏まえた学校生活が続きますが、学校の教育活動および感染予防対策にご理解とご協力をお願いします。



たかしまLIFE!!

閩市民協働課 ☎ (25) 8526

わたし流、 やさしまの暮らし。

たかしまへ移住(1・J・Uターン)された方に、インタビュー!

「素敵な町マキノ」
足立 幹彦さん

私は福岡県出身ですが、15年前に仕事の関係で彦根へ転勤となりました。

当時は、アウトドアが好きなこともあり、毎週、ひとめぼれしたマキノ地域のキャンプ場や温泉を訪れていました。こんな町に住みたいと思っていたら、市に空き家紹介システムがあることを知り、すぐに申し込みをしたところ、たまたま現在の物件に巡り合うことができ、移住を決意しました。

移住した集落では私が初めての移住者でした。「来やんせ」、「見やんせ」、「食べやんせ」の温かい人柄に触れ今年で移住して4年目になります。

田んぼや畑の仕方を地域の方に教えていただいたり、夏祭りや昨年40周年となる運動会にも参加したりして最高の人生を送っています。



移住サポート「ちよい宿」
あなたを喜んでます。
マキノに来られた際は、ちょい宿を見てみてください。

持続可能な地域に向けて 新たな住民自治の仕組みづくりを始めます!

人口減少などによる地域コミュニティ機能の低下が懸念されるなか、持続可能な地域づくりを進めるため、令和2年3月に高島市地域コミュニティ推進指針を策定しました。

この指針では、新たな連携の仕組みの一つとして、区・自治会間の交流と連携を目的に、区長連絡会を設置することとしています。

区長連絡会とは

区長・自治会長が多くから、区や自治会間の交流や課題共有できる場が必要とのご意見があります。区長連絡会は中学校区内のすべての区長・自治会長で組織し、今後も健全な区・自治会運営が行えるよう、情報共有や研修、自治会同士の事業連携の検討を行います。

